

INVESTMENT STRATEGY MONTHLY <投資戦略マンスリー> DIGEST

MITSUBISHI UFJ KOKUSAI ASSET MANAGEMENT



2023年4月

● 金融市場（6ヵ月後）見通し

株式

		直近値	6ヵ月後の見通し
日本	日経平均株価(円)	28,041	25,500-29,500
	TOPIX(ポイント)	2,004	1,800-2,080

		直近値	6ヵ月後の見通し
米国	NYダウ(米ドル)	33,274	29,500-35,500
	S&P500(ポイント)	4,109	3,600-4,300

債券（10年国債利回り）

(単位:%)		直近値	6ヵ月後の見通し
日本		0.326	0.0-0.75

(単位:%)		直近値	6ヵ月後の見通し
米国		3.473	3.0-4.0

リート

(単位:ポイント)		直近値	6ヵ月後の見通し
日本	東証REIT指数	1,786	1,630-1,930

(単位:ポイント)		直近値	6ヵ月後の見通し
米国	S&P米国REIT指数	1,523	1,300-1,600

為替（対円）

(単位:円)		直近値	6ヵ月後の見通し
米ドル		132.79	125-139
ユーロ		143.93	135-149

(単位:円)		直近値	6ヵ月後の見通し
オーストラリアドル		88.77	84-94
ブラジルリアル		26.22	23.0-27.0

注) 見通しは当社経済調査室。
直近値および見通しは2023年3月31日（直近日休場の場合は前営業日の値）。

出所) S&P、Refinitivより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」
および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

日本

米欧の金融システム不安がかく乱要因

3月の日経平均株価は+2.2%と上昇しました。米欧の金融システム不安や景気への先行き不透明感から株価は大幅に下落し、20日に日経平均は約2カ月ぶりに2万7千円台を割り込みました。ただし、金融システムへの過度な不安が後退すると株価は大幅反発。為替市場での円安進行が追い風となり、自動車や商社株が上昇するなか、31日に日経平均は2万8千円台を回復しました。

グローバルな金融不安は当面株価の重しに

グローバルな金融システム不安の高まりで、銀行や保険株は大きく調整しました。TOPIXは金融株の下落が響き、けん引役となっていたバリュー株（割安株）は上昇一服の動きとなっています。東京証券取引所はPBRが1倍を下回る上場企業に、株価水準を引き上げるための具体策を開示・実行するよう要請しており、今後の企業対応が注目されます。暫くは米金融システムをにらみながら、株価は上昇余地を探る展開となりそうです。（向吉）

米国

金融システム不安からの持ち直し進む

3月のNYダウは+1.89%と上昇しました。月前半には米金融機関が相次いで経営破綻したことなどから、金融システム不安が広がり、株式市場は金融セクターを中心に急落しました。しかし、米金融当局の素早い対応で連鎖的な破綻に至ることはなく、月後半に開催された連邦公開市場委員会(FOMC)も概ね波乱なく通過したことから、株式市場のリスク選好は回復し、月間で上昇しました。

利下げへの期待は早計、先行きの上値重いか

3月FOMCでは年内残り1回の利上げが示唆され、利上げサイクルは最終局面に近づきつつあります。しかし、市場は足元の金融システム不安などを材料に既に先行きの利下げを織り込み、金利低下を背景にグロース株などを中心に騰勢を強めています。一方、米連邦準備理事会(FRB)は利上げ休止後も政策金利を維持する姿勢を明確にしていることから、市場の見方は楽観的とみられ株式相場の更なる上昇余地は限られそうです。（清水）

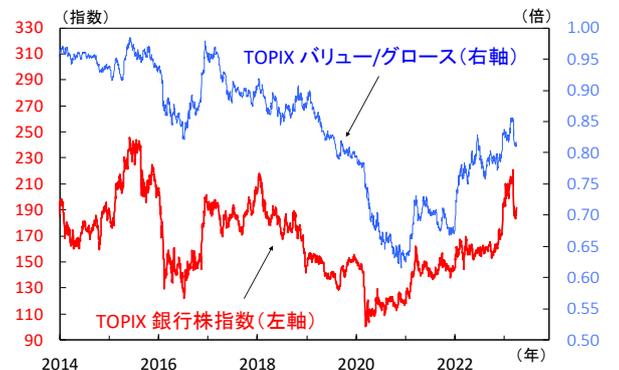
【図1】銀行株の大幅調整で割安株の上昇は一服



注) 直近値は2023年3月31日時点。

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

TOPIX バリューストック比率と銀行株



注) 直近値は2023年3月31日。バリューストック比率はPBR(株価純資産倍率)等の指標が相対的に低い銘柄で構成、グロース株はPBR等が相対的に高い銘柄で構成。

出所) 東京証券取引所、Bloombergより当社経済調査室作成

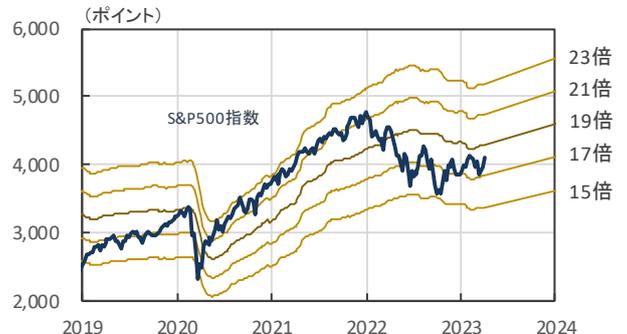
【図2】PERのレンジは過去一年と比較し割高か



注) 直近値は2023年3月31日時点。

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

S&P500 予想EPSによるPERレンジ



注) 直近値は2023年3月31日時点。予想EPS(一株当たり利益)は12カ月先予想を使用。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

日本

米金融不安を受けて大きく低下

3月の10年国債利回りは0.18%pt低下しました。10日の金融政策決定会合で日銀が大規模金融緩和策の現状維持を決定した事で、利回りは日銀の許容上限0.5%を大きく下回り低下しました。さらに米シリコンバレー銀行の経営破綻で米金融システム不安が高まり、米金利低下に伴い中旬には0.25%まで低下。月末にかけて金融不安が後退するなか利回りは0.3%台前半まで上昇しました。

日銀新体制での政策修正期待は根強い

3月金融政策決定会合での現状維持は事前予想通りでしたが、市場機能に改善がみられない中でさらなる緩和修正への警戒感にくすぶっていたため、結果を受けて10年債利回りは大きく低下、為替市場で円が下落しました。現在、米金融不安による金利低下圧力を受けて国債のイールドカーブの歪みは解消に向かっていますが、4月9日に就任する植田日銀新総裁のもと政策修正期待は根強く、金利上昇圧力は再び強まる見通しです。(向吉)

米国

10年国債利回りは3.5%台まで急低下

3月の米10年国債利回りは低下しました。3月連邦公開市場委員会(FOMC)にて政策金利の到達点予想が据え置かれたことや、相次いだ米地銀の経営破綻による金融システムへの不安が先行きの景気後退懸念を高め、2月にかけて債券市場に漂った過度な金融引き締め懸念が後退。先行きへの慎重な見方が広がったことが背景とみています。

市場の利上げ予想は早計、急変動に注意

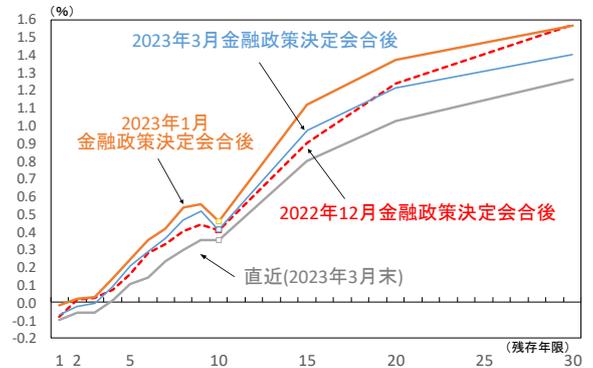
米金利は強弱材料が綱引きし、先行き不透明感が生じています。金融システム不安は金融当局の迅速な対応により一旦は小康状態ながら、今後更なる悪影響が生じる懸念は拭えません。一方、市場は年内利下げを織り込むも、3月FOMCでは年内の政策金利据え置きが示唆されています。国債先物市場の織り込む先行きの価格変動率も高水準にあり、水準変化に注意が必要です。(清水)

【図3】国債イールドカーブの歪みは解消に向かう



注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

日本 国債のイールドカーブ



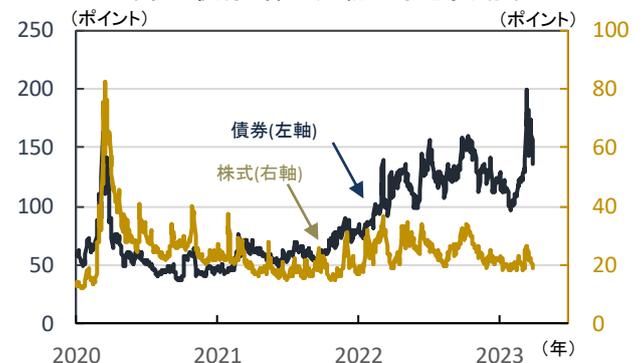
注) 日銀は2022年12月20日に長期金利の変動幅を拡大(±0.25%から±0.5%へ) 出所) Bloombergより三菱UFJ国際投信作成

【図4】債券先物は先行きの急変動を示唆



注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

米国 債券・株式先物の予想変動率



注) 株式はVIX指数、債券はMOVE指数を使用。直近値は2023年3月31日時点。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



米ドル

米金融不安を背景に利下げ観測広がる

3月の名目実効ドル(貿易加重の主要為替レート)、米ドル(対円)は下落しました。米地銀の経営破綻に端を発した金融不安の波及から為替相場がリスク回避の動きとなり、日本円などが選好されるなか米ドルは下落しました。また、3月連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利の到達点予想が据え置かれると、市場は景気後退を先読みして利上げ観測を折り込み、米ドルは下落基調となりました。

市場の利下げ予想は楽観気味、米ドル高に注意

米連邦準備理事会(FRB)は依然として高止まりする物価上昇を沈静化させるため、政策金利を少なくとも2023年は高水準に据え置く姿勢を維持しています。一方、市場は金融不安などから景気後退懸念から年内利下げを織り込んでいるものの、今後発表される労働市場や物価関連の経済指標が底堅さを示した場合、利下げ予想が修正され、ドル高に転じる可能性に注意が必要です。(清水)



ユーロ

ECBは大幅利上げを継続、ユーロ相場は反発

3月のユーロ・ドルの月間騰落率(～31日)は+2.49%と上昇しました。米欧金融システム不安が台頭する下でも、欧州中央銀行(ECB)は3月政策理事会でインフレ抑制を優先し、0.5%ptの大幅利上げを決定。ユーロ圏景気の底堅さやECBの積極的な金融引き締め姿勢がユーロ高につながりました。加えて、資源価格の下落等による経常収支の改善も引き続きユーロ相場を支えました。

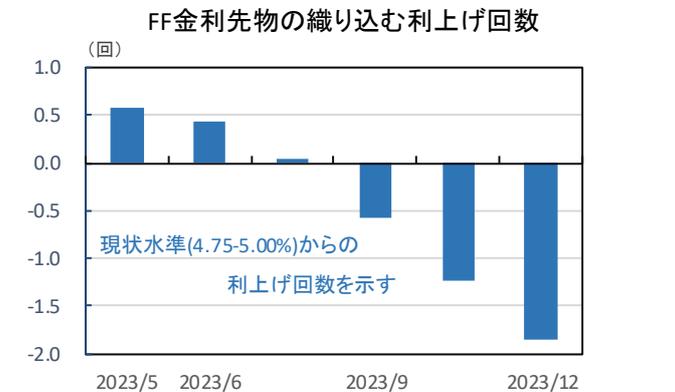
ユーロ相場は底堅さを維持か

ユーロ圏の3月コアインフレ率は過去最高の更新を続け、インフレの粘着性は米国と比しても強く、ECBの相対的に積極的な利上げ姿勢は引き続きユーロ相場を支えそうです。一方、ユーロ圏景気の回復はごく緩やかに留まる見込み。金融システム不安は拭いきれず、昨年夏以降の大幅利上げによる与信への影響も徐々に顕在化。景気回復・利上げ軌道を巡る不透明感は強まっており、ユーロ相場のさらなる上昇余地は限られそうです。(吉永)

【図5】市場はFF金利到達点の引き上げを意識

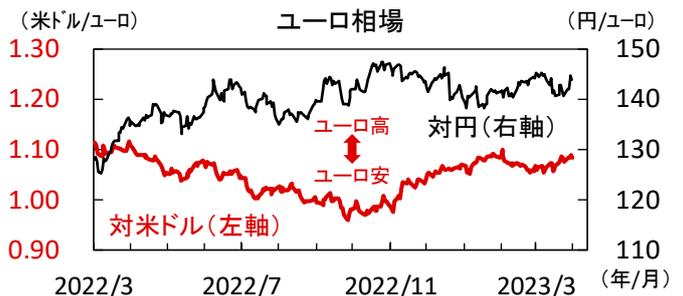


注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

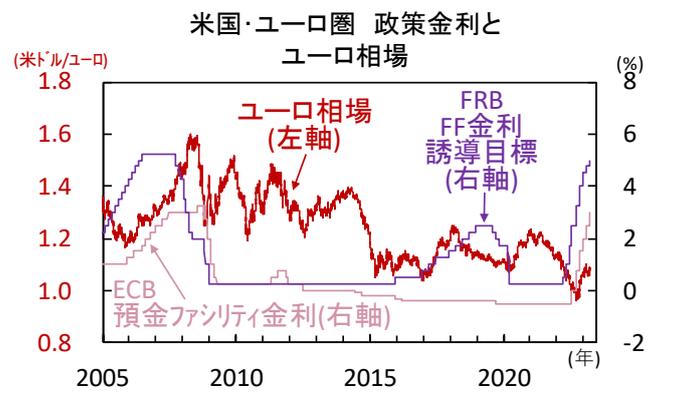


注) 2023年3月31日時点の市場予想に基づく数値。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図6】ECBは米FRBを超える0.5%ptの大幅利上げを実施



注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成



注) 直近値は2023年3月31日。出所) Refinitiv、ECB、FRBより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



オーストラリア(豪)ドル

豪中銀利上げ停止の可能性から豪ドル売り

3月の豪ドルは対米ドルで▲0.7%と下落しました。7日に豪中銀が先行き利上げ停止を示唆すると豪ドル売りに。加えて米パウエルFRB議長が議会証言で堅調な米経済指標を受け3月FOMCで利上げ幅再拡大に含みを持たせると米金利が上昇し豪ドルは0.6570米ドルを割り込む水準まで下落。その後米金融不安が高まりFRBのタカ派色が弱まるとの見方で豪ドルは値を戻しました。

金融不安が再燃すれば豪ドルは買いにくい

米金融安定性を巡る懸念から米利上げは一旦停止の可能性が浮上、豪中銀も利上げ打ち止め時期を探る動きを見せています。ただし、金融市場ではFRBのタカ派姿勢変化の影響の方が大きいため、豪ドルは対ドルで底堅い動きが予想されます。一方で米欧金融システム不安が再燃し投資家のリスク回避的な姿勢が強まれば、豪ドルを積極的に買いにくい状況になります。引き続き、豪ドルは上値の重い時間帯が続くそうです。(向吉)



ブラジルレアル

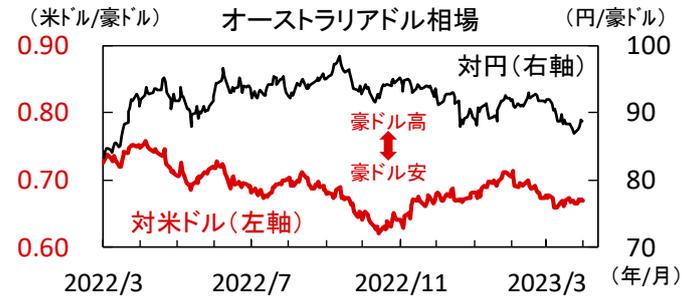
政府になびかない中銀の姿勢が通貨を下支え

レアルは3月初より対米ドルで+3.4%と上昇、米欧の金融システム不安の中でも堅調に推移しました。ルラ大統領はブラジル中央銀行(中銀)に対して利下げや物価目標の引き上げを求める発言を繰り返しますが、中銀は3月の金融政策決定会合でも政策金利を据え置き、政策金利を長期間据え置く姿勢を見せています。物価も緩やかに鈍化し、高い実質金利の水準から通貨が支えられました。

新たな財政枠組みも市場で好感される

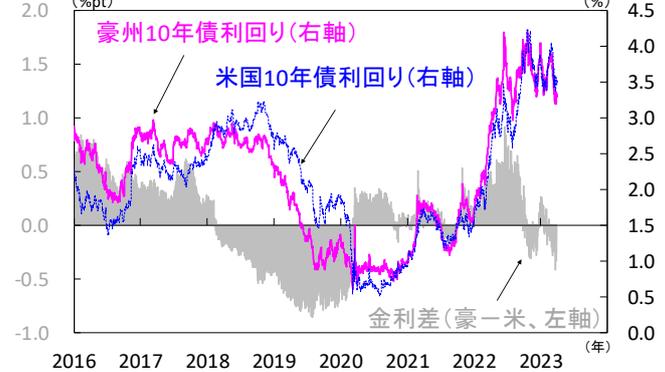
3月30日にはアダジ財務相が新たな財政枠組みを発表。連邦議会で承認されれば前政権で形骸化していた歳出の伸び率を前年のインフレ率以下に抑制する歳出上限制度に代わり、歳出の伸びを歳入の伸びの70%に抑制、基礎的財政収支が目標(GDP比で2023年▲0.5%、2024年に均衡、2025年+0.5%)を達成できない場合は50%に抑制されます。市場でもこの発表が好感されましたが、政府と中銀の対立には引き続き注意が必要です。(松本)

【図7】豪中銀利上げ停止観測で豪金利低下・豪ドル安



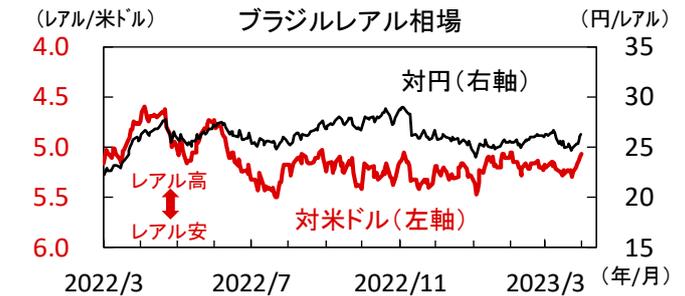
注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

豪米10年国債利回りと金利差



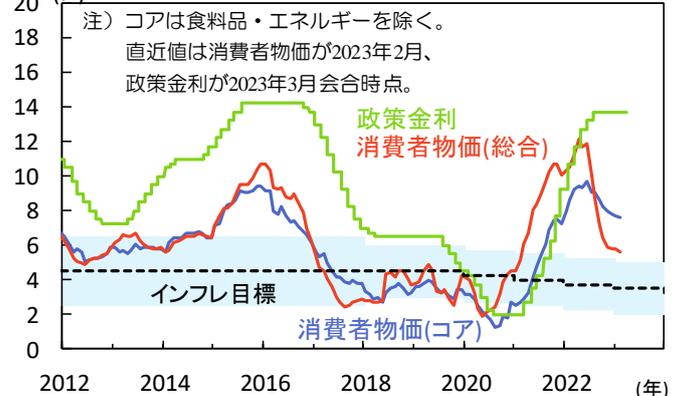
注) 直近値は2023年3月31日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図8】2月にレアルは対米ドルで+3.4%



注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

ブラジル 消費者物価(前年比)と政策金利



注) コアは食料品・エネルギーを除く。直近値は消費者物価が2023年2月、政策金利が2023年3月会合時点。出所) ブラジル中銀より当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

日本

欧米金融不安など市場リスクを嫌気

3月の東証REIT指数は前月比▲3.1%と下落しました。上旬は米連邦準備理事会(FRB)の利上げ再加速観測が重しとなりました。中旬以降は日銀政策決定会合での政策据え置きで安心感が広がるも、10日の米シリコンバレー銀行破綻を発端とした欧米金融不安でリスクオフの展開が続きました。月末は欧米当局による金融システム安定に向けた対応もあり、リートは下落幅が縮小しました。

植田新体制の日銀政策を注視

リートは上値の重い展開を予想します。9日に植田和男氏が日銀新総裁に就任し、新体制での政策修正が意識されやすいためです。金融緩和は維持される見通しですが、長短金利操作は市場機能低下など副作用も指摘され修正リスクが残存しています。海外投資家は5カ月連続でリートを売り越すなか、金利先高観が懸念されている模様です。金利は不動産価格や借入コストにも影響するため、植田新体制の日銀政策が注目されます。(田村)

米国

金融不安が重しも、金利先高観の後退で反発

3月のS&P米国リート指数は▲2.48%と下落し、S&P500の騰落率を下回りました。月前半は3月連邦公開市場委員会(FOMC)で金融引き締め姿勢が先鋭化すると懸念や、金融不安などから米国リート市況は前月に続き下落基調が継続しました。月後半には3月FOMCで更なるタカ派姿勢が示されなかったことや、景気後退懸念による米金利の低下を背景に反発するも、月間では下落しました。

インフレ鎮静化の兆しは確認高まらず

米国リート市況は先行きも上値の重い展開を予想します。3月FOMCで2023年の政策金利見通しが据え置かれ、金融不安などから景気後退懸念が高まったことで、市場では年内利下げが織り込まれ、金利低下が米国リートの追い風となっています。しかし、肝心の物価上昇は依然として高止まりの様相を呈し、次回5月のFOMCでも今後の指標次第では利上げが見込まれるなど、米国リートを取り巻く環境は未だ厳しいといえそうです。(清水)

【図9】日銀新体制での金利上昇リスクが重し



注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

日本 東証リート指数の1株当たり配当金、10年国債利回り



注) 直近値は2023年3月末、データは月末値。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図10】価格硬直性のある物価は依然として高止まり



注) 直近値は2023年3月31日時点。出所) Refinitivより当社経済調査室作成

米物価指標(前年比)



注) 直近値は2023年2月時点。出所) 米BLS、アトランタ連銀より当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

● 2023年4月の主要経済指標と政治スケジュール

月	火	水	木	金
4/3	4	5	6	7
(日) 日銀短観(3月調査) (日) 3月 新車販売台数 (米) 2月 建設支出 (米) 3月 ISM製造業景気指数 (豪) 2月 住宅建設許可件数 (中) 3月 製造業PMI (財新)	(日) 3月 マネタリーベース (米) 2月 製造業受注(確報) (独) 2月 貿易統計 (豪) 金融政策決定会合	(米) 3月 ADP雇用統計 (米) 3月 ISMサービス業景気指数 (米) 2月 貿易収支 (独) 2月 製造業受注 (仏) 2月 鉱工業生産 (英) 3月 新車登録台数	(欧) 2月 鉱工業生産	(日) 2月 毎月勤労統計 (日) 2月 景気先行指数 (日) 2月 家計調査 (米) 3月 労働省雇用統計
10	11	12	13	14
(日) 2月 経常収支 (日) 3月 倒産件数 (日) 3月 消費者態度指数 (日) 3月 景気ウォッチャー (米) 2月 卸売在庫 (確報)	(日) 3月 工作機械受注 (米) 3月 NFIB中小企業楽観指数 (欧) 4月 Sentix投資家信頼感指数 (豪) 4月 消費者信頼感指数 (豪) 3月 NAB企業景況感指数 (中) 3月 生産者物価 (中) 3月 消費者物価 (伯) 3月 消費者物価 (IPCA)	(日) 3月 銀行・信金貸出動向 (日) 3月 国内企業物価 (日) 2月 機械受注 (米) 3月 消費者物価 (米) 3月 月次財政収支 (米) FOMC議事録 (3月21日-22日分) (加) 金融政策決定会合 (印) 2月 鉱工業生産	(日) 3月 マネーストック (米) 3月 生産者物価 (伊) 2月 鉱工業生産 (英) 3月 RICS住宅価格 (英) 2月 鉱工業生産 (豪) 3月 雇用統計 (中) 3月 貿易統計	(米) 3月 輸出入物価 (米) 3月 小売売上高 (米) 3月 鉱工業生産 (米) 4月 ミシガン大学 消費者信頼感指数(速報)
17	18	19	20	21
(米) 4月 ニューヨーク連銀 製造業景気指数 (米) 4月 NAHB住宅市場指数	(米) 3月 住宅着工・許可件数 (欧) 4月 ZEW景況感指数 (独) 4月 ZEW景況感指数 (英) 2月 失業率 (ILO基準) (中) 1-3月期 実質GDP (中) 3月 鉱工業生産 (中) 3月 小売売上高 (中) 3月 都市部固定資産投資	(米) ページブック (地区連銀経済報告) (英) 3月 消費者物価 (英) 3月 生産者物価 (豪) 3月 景気先行指数 (伯) 2月 鉱工業生産	(日) 3月 貿易統計 (日) 2月 第3次産業活動指数 (米) 3月 中古住宅販売件数 (米) 3月 景気先行指数 (欧) 4月 消費者信頼感指数 (豪) 1-3月期 NAB企業景況感指数	(日) 3月 消費者物価 (全国) (日) 4月 製造業PMI (日) 4月 サービス業PMI (米) 4月 製造業PMI (速報) (米) 4月 サービス業PMI(速報) (欧) 3月 サービス業PMI(速報) (英) 3月 小売売上高 (英) 4月 Gfk消費者信頼感指数
24	25	26	27	28
(独) 4月 ifo景況感指数	(日) 3月 企業向けサービス価格 (米) 2月 S&P700 TM / ケース・シラー住宅価格指数 (米) 3月 新築住宅販売件数 (米) 4月 消費者信頼感指数 (コンファレンス・ボード) (伯) 2月 小売売上高	(米) 3月 卸売在庫 (速報) (米) 3月 耐久財受注 (米) 3月 製造業受注 (速報) (独) 4月 Gfk消費者信頼感指数	(日) 日銀金融政策 決定会合(~28日) (米) 1-3月期 実質GDP (1次速報) (米) 3月 中古住宅販売 仮契約指数 (欧) 4月 ユーロ圏景況感指数	(日) 3月 鉱工業生産 (速報) (日) 3月 労働関連統計 (日) 3月 小売売上高 (日) 黒田日銀総裁定例記者会見 (米) 3月 個人所得・消費 (米) 4月 シカゴ購買部協会 景気指数 (米) 4月 ミシガン大学 消費者信頼感指数(確報) (欧) 1-3月期 実質GDP(速報) (欧) 4月 サービス業PMI(速報) (独) 4月 失業者数 (独) 1-3月期 実質GDP(速報)
				30
				(中) 4月 製造業PMI (政府) (中) 4月 非製造業PMI (政府)

注) (日) 日本、(米) 米国、(欧) ユーロ圏、(独) ドイツ、(仏) フランス、(伊) イタリア、(英) 英国、(豪) オーストラリア、(加) カナダ、(中) 中国、(印) インド、(伯) ブラジル、を指します。日程および内容は変更される可能性があります。

出所) 各種情報、Bloombergより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

注) 直近値は2023年3月31日時点

株式	(単位:ポイント)	直近値	2月末	騰落率%
日本	日経平均株価(円)	28,041.48	27,445.56	2.17
	TOPIX	2,003.50	1,993.28	0.51
米国	NYダウ(米ドル)	33,274.15	32,656.70	1.89
	S&P500	4,109.31	3,970.15	3.51
	ナスダック総合指数	12,221.91	11,455.54	6.69
欧州	ス톡ス・ヨーロッパ600	457.84	461.11	▲0.71
ドイツ	DAX®指数	15,628.84	15,365.14	1.72
英国	FTSE100指数	7,631.74	7,876.28	▲3.10
オーストラリア	S&P/ASX200指数	7,177.80	7,258.40	▲1.11
香港	ハンセン指数	20,400.11	19,785.94	3.10
中国	上海総合指数	3,272.86	3,279.61	▲0.21
インド	S&P BSE SENSEX指数	58,991.52	58,962.12	0.05
ブラジル	ボベスパ指数	101,882.20	104,931.93	▲2.91
先進国	MSCI WORLD	2,791.44	2,714.57	2.83
新興国	MSCI EM	990.28	964.01	2.73
新興アジア	MSCI EM ASIA	537.43	519.63	3.43

為替(対円)	(単位:円)	直近値	2月末	騰落率%
米ドル		132.79	136.20	▲2.50
ユーロ		143.93	144.05	▲0.08
英ポンド		163.77	163.71	0.04
カナダドル		98.24	99.79	▲1.55
オーストラリアドル		88.77	91.64	▲3.13
ニュージーランドドル		83.09	84.20	▲1.32
中国人民元		19.328	19.642	▲1.60
インドルピー		1.6153	1.6479	▲1.98
インドネシアルピア(100ルピア)		0.8853	0.8928	▲0.84
タイバーツ		3.8816	3.8649	0.43
マレーシアリング		30.077	30.334	▲0.85
ブラジルレアル		26.223	26.006	0.83
メキシコペソ		7.367	7.438	▲0.96
南アフリカランド		7.458	7.414	0.59
トルコリラ		6.92	7.21	▲4.07
ロシアルーブル		1.7023	1.8147	▲6.19

国債利回り	(単位:%)	直近値	2月末	騰落幅%
日本	10年物	0.326	0.502	▲0.176
米国	10年物	3.473	3.928	▲0.455
ドイツ	10年物	2.301	2.643	▲0.342
英国	10年物	3.490	3.824	▲0.334
カナダ	10年物	2.899	3.338	▲0.439
オーストラリア	10年物	3.329	3.845	▲0.516
ニュージーランド	10年物	4.225	4.590	▲0.365
インド	10年物	7.315	7.457	▲0.142
インドネシア	10年物	6.815	6.885	▲0.070
ブラジル	10年物	12.822	13.310	▲0.488
メキシコ	10年物	8.829	9.299	▲0.470
南アフリカ	10年物	9.830	10.110	▲0.280
トルコ	10年物	10.310	9.990	0.320
ロシア	10年物	10.310	10.990	▲0.680

政策金利	(単位:%)	直近値	2月末	騰落幅%
米国	FF目標金利	5.00	4.75	0.25
ユーロ圏	リファイナンスレート	3.50	3.00	0.50
英国	バンクレート	4.25	4.00	0.25
カナダ	オーバーナイト・レート	4.50	4.50	0.00
オーストラリア	キャッシュレート	3.60	3.35	0.25
ニュージーランド	キャッシュレート	4.75	4.75	0.00
中国	1年物優遇貸付金利	3.65	3.65	0.00
インド	レポレート	6.50	6.50	0.00
インドネシア	7日物リハース・レポ金利	5.75	5.75	0.00
ブラジル	SELIC金利誘導目標	13.75	13.75	0.00
メキシコ	オーバーナイト・レート	11.25	11.00	0.25
南アフリカ	レポレート	7.75	7.25	0.50
トルコ	1週間物レポ金利	8.50	8.50	0.00
ロシア	1週間物入札レポ金利	7.50	7.50	0.00

リート	(単位:ポイント)	直近値	2月末	騰落率%
日本	東証リート指数	1,785.77	1,843.21	▲3.12
米国	S&P米国REIT指数	1,522.58	1,561.28	▲2.48
欧州	S&P欧州REIT指数	707.62	771.51	▲8.28
オーストラリア	S&P豪州REIT指数	900.58	966.67	▲6.84

商品	(単位:ポイント)	直近値	2月末	騰落率%
原油	WTI先物(米ドル)	75.67	77.05	▲1.79
金	COMEX先物(米ドル)	1,977.00	1,836.70	7.64
工業用金属	ブルームバーグ商品指数	159.99	161.17	▲0.73
穀物	ブルームバーグ商品指数	46.92	45.61	2.89

注) 株式は現地通貨(MSCIは米ドル)ベース、リートは現地通貨ベース(米国・欧州・オーストラリアは配当込み指数)、商品は米ドルベース。
 FF目標金利はレンジ上限値を表記。原油は1バレル当たり、金は1オンス当たりの価格。
 直近値および前月末値のデータがない場合(休場など)、それぞれ前営業日の値を表示。

出所) MSCI、S&P、Refinitivより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。（作成基準日：2023年4月4日）
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

- 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
- TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
- ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
- FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
- MSCI WORLD、MSCI EM、MSCI EM ASIAに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）およびブルームバーグ（Bloomberg®）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、三菱UFJ国際投信による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、三菱UFJ国際投信の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、三菱UFJ国際投信が運用するファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity IndexSM）に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。
- S&P先進国REIT指数はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。S&P DJIはS&P先進国REIT指数、S&P新興国REIT指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会